

HBT Japan
2019/07/23

Performance DVRレコーダー クイックガイド
第2版

Honeywell
THE POWER OF **CONNECTED**

目次

1. Performance 初期設定
2. Performance ライブ視聴・録画再生
3. Performance 録画モード設定
4. Performance カメラ画質設定
5. Performance その他 機能説明

1. Performance 初期設定

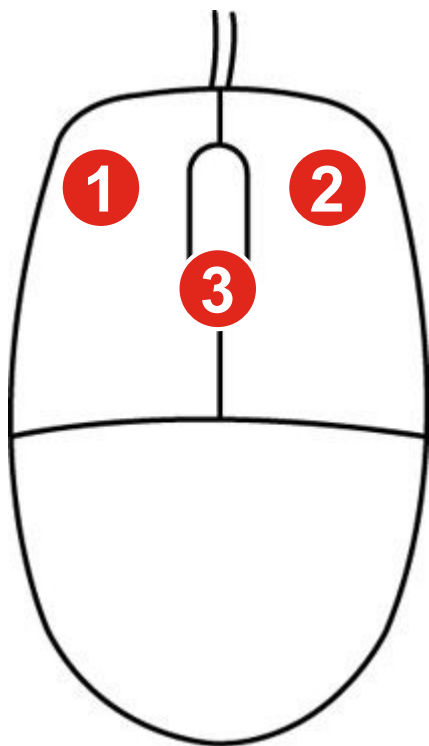


カメラ・レコーダーの接続

下図に従ってカメラ・レコーダーを接続してください。100V AC 電源・カメラ・モニター・マウスの4点は必須です



マウスの使い方



1 左クリック

- クリックして、ナビゲーションバーを開きます
- 分割画面表示中
 - 個別のチャンネルを表示したい場合にはダブルクリックします
 - 分割画面モードに戻るには再度ダブルクリックします
- メニューを使用中
 - クリックしてメニューオプションを開きます

2 右クリック

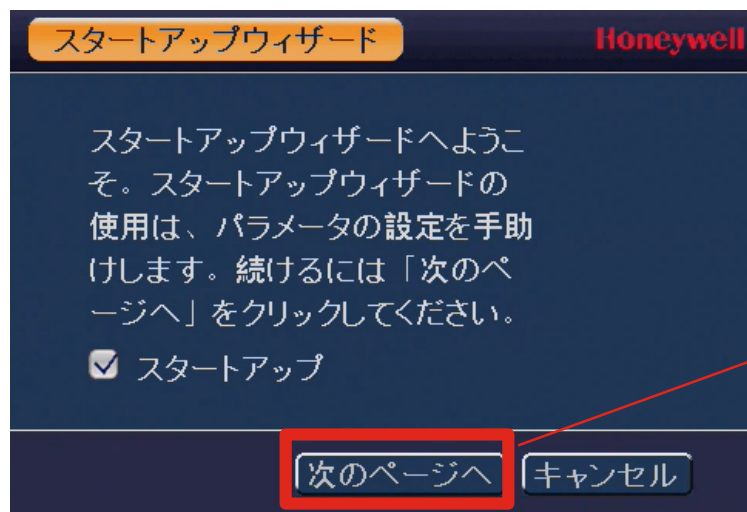
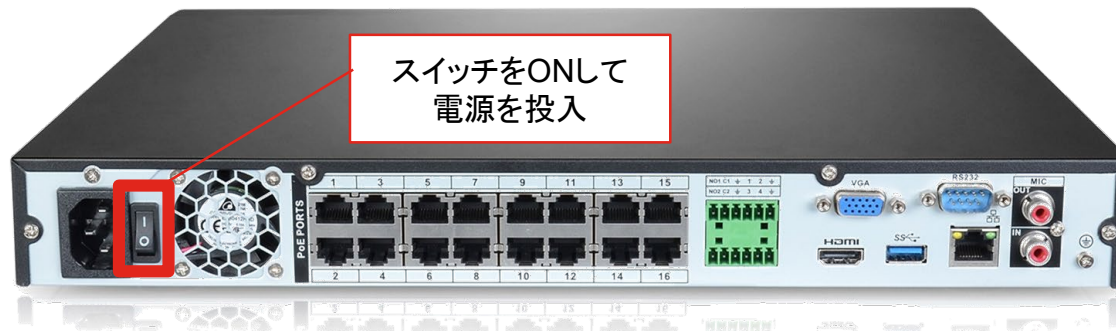
- ライブ表示中
 - クイックメニューを開くには画面の任意の場所を右クリックします
- システムメニュー内
 - メニューを終了するには右クリックします

3 スクロールホイール

- メニューオプションの変更に使用します

電源投入

接続が完了したら、背面のスイッチで電源を投入します。起動ウィザードで設定を行ってください (工場出荷時の言語設定によっては英語表示の場合があります)



起動ウィザードへ入る

起動ウィザード (1/6)

一般

Honeywell

一般 日付&時刻 休日用設定

デバイス名 NVR

デバイスNo. 8

言語 日本語 ▼

ビデオスタンダード NTSC ▼

HDDフル 上書き ▼

バック期間 60 分

リアルタイム再生 5 分

自動ログアウト 10 分

IPC時刻同期 5 分

☐ ナビゲーションバー

マウスの感受性 スロー ——— 高速

デフォルト 適用

前のステップ 次のステップ キャンセル

HDDが満杯になった際に、古いデータを上書きして録画継続するか、録画を停止するかを選択

無操作状態でロック(パスワード要求)が掛かるまでの時間を設定

マウスの操作性はこちらで調整

起動ウィザード (2/6)

一般

一般 日付&時刻 休日用設定

日付形式 時間形式

日付区切り

システム時間

☐ DST

DSTタイプ ☒ 週間 ☐ 日付

開始時間

終了時間

☐ NTP

サーバー

ポート

更新期間 分

手動で日付・時刻を設定する場合こちらを設定
日本国内での使用の場合は
GMT+9:00に設定してください

NTP(Network Time Protocol)で
日付・時刻を自動取得する場合はこちらを設定

起動ウィザード (3/6)

IPアドレス設定は、スタンドアロンで使用する際は特に変更不要ですが、Ethernetポート経由でルーター等に接続している場合は適宜設定が必要です (マニュアル設定 または DHCPサーバー利用)

The screenshot shows the 'ネットワーク' (Network) configuration screen in the Honeywell setup wizard. The 'MTU' is set to 1500. The 'LANダウンロード' (LAN Download) option is disabled. The 'IPバージョン' (IP Version) is set to 'IPv4'. The 'Macアドレス' (Mac Address) is '00:1f:55:35:16:19'. The 'IPアドレス' (IP Address) is '192 . 168 . 1 . 108', which is highlighted with a red box. The 'サブネットマスク' (Subnet Mask) is '255 . 255 . 255 . 0'. The 'デフォルトゲートウェイ' (Default Gateway) is '192 . 168 . 1 . 1'. The '推奨DNS' (Recommended DNS) is '8 . 8 . 8 . 8'. The '代替DNS' (Alternative DNS) is '8 . 8 . 4 . 4'. A red box highlights the 'DHCP' checkbox, which is currently unchecked. Two callout boxes provide instructions: one for manual IP configuration and another for DHCP server usage.

設定項目	設定値
MTU	1500
LANダウンロード	<input type="checkbox"/>
IPバージョン	IPv4
Macアドレス	00:1f:55:35:16:19
IPアドレス	192 . 168 . 1 . 108
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
デフォルトゲートウェイ	192 . 168 . 1 . 1
推奨DNS	8 . 8 . 8 . 8
代替DNS	8 . 8 . 4 . 4

マニュアル設定で
任意のIPアドレスを指定可能
(サブネットマスク・デフォルトゲートウェイ
などの設定も必ず行ってください)

☐ DHCP

DHCPサーバー
利用の場合はこちら
にチェック

起動ウィザード (4/6)

Ehternetポートから外部ネットワークに接続している場合、P2P接続を有効にすることができます。利用する場合は「有効」にチェックを入れてください。（スマホアプリHonView Touchからの接続方法は別途資料参照）



起動ウィザード (5/6)

カメラの記録画質を設定できます。データ容量を抑えたい場合は解像度・フレームレート・ビットレートを下げてください。

The screenshot shows the 'Encode' configuration screen in the Honeywell setup wizard. The 'Channel' is set to '1'. The 'Bitrate Type' is set to 'CBR'. Other settings include Resolution: 1920*1080(1080P), Frame Rate: 30 FPS, and Bitrate: 2048 Kb/S.

設定対象の
チャンネルを選択

各種パラメーターを
設定

ビットレートタイプは
CBR/VBRから選択可
 • CBR(ビットレートを
常時一定に保つ)
 • VBR(ビットレートを
映像に合わせて可
変させ、データサイ
ズを節約)

起動ウィザード (6/6)

録画を実行する時間帯を選択します。デフォルト設定は常時録画ですが、用途に応じて時間帯と録画モードを適宜変更してください



設定するモードを選択
レギュラー: 常時録画
MD: 動体検知録画
アラーム: アラーム録画

各曜日・時間帯をクリック
で選択してON/OFF設定
を切り替え

左列をクリック
して☞マーク
に切り替えると
複数の曜日を
一括設定可能

2. Performance ライブ視聴・録画再生



ライブ視聴

ライブ視聴画面では、右クリックで画面割り数の切替などが可能です
(機種により表示されるメニューが異なる場合があります)

右クリックメニュー

- 単画面
- 4画面
- 前の画面へ
- 次の画面へ
- パン/チルト/ズーム
- カラー設定
- ディスプレイ
- Camera Menu
- 顔検知
- 検索
- 録画設定
- メインメニュー

画面割り数を切替
※機種により対応画面割り数は異なります

各画面コマに表示するチャンネルを変更

表示アスペクト比の変更

カメラの登録・削除

顔検知の設定(対応機種のみ)

録画再生メニューを開く

録画時間帯の設定

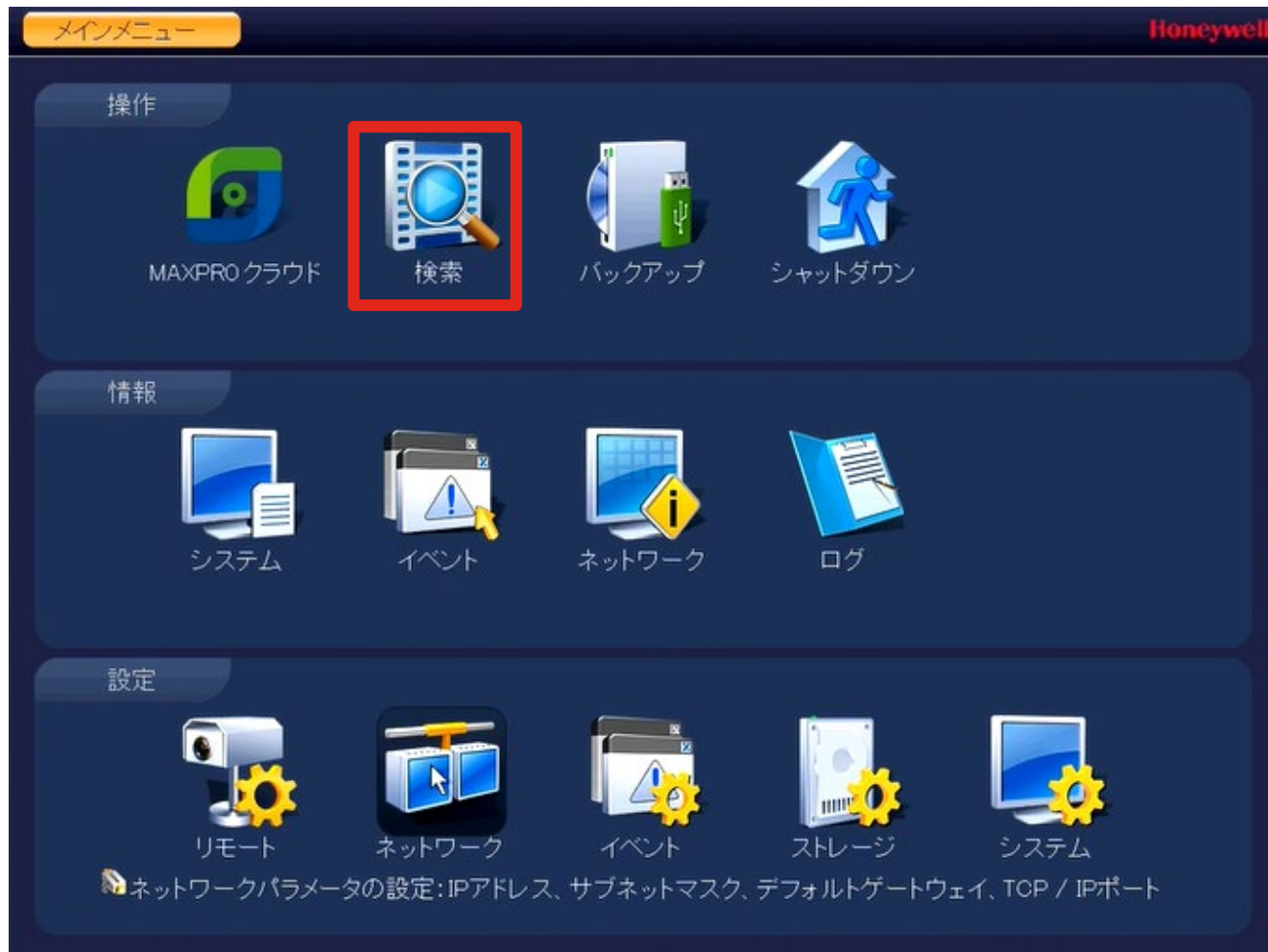
メインメニューを開く

PTZカメラの操作で使用(およびMFZのズーム・ピント合わせ)

カメラの画質設定

録画再生 (1/2)

録画再生を行うためには、メインメニューから「検索」をクリックしてください



録画再生 (2/2)

日付・時間帯・チャンネルを選択して録画の再生を行います

The screenshot shows the Honeywell security camera system's playback interface. The main display area is dark, indicating no video feed is currently shown. To the right, there are several control panels: a date and time selector, a channel list, and a USB memory export section. At the bottom, there is a playback timeline and a status bar.

**デフォルトは4画面再生
1画面表示にする場合はダブルクリック**
(1画面表示状態でマウスで範囲をドラッグして選択すると部分拡大も可能)

日付を選択

チャンネルを選択

USBメモリへの書き出し
(書き出しの始点となる時間に再生画面を合わせ、左手のハサミマークをクリックして始点を指定。同様に終点を選択し、右のディスクマークをクリックして書き出し処理を実行)

録画済み時間帯にはバーが表示されるので、再生したい箇所をクリックして再生

**時間軸を変更
(24時間、2時間、1時間、30分)**

再生停止 ☒ 同期 ☒ 全て ☒ ノーマル ☒ アラーム ☒ 動体 ☒ IVS ☒ POS

24hr 2hr 1hr 30min

15:10:49 - 15:25:14

3. Performance 録画モード設定



録画モードの概要

Performanceシリーズでは、ノーマル録画(曜日/時間指定)のほか、動体検知録画、アラーム入力録画に対応しています

機能

用途のイメージ

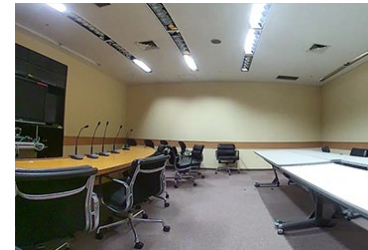
ノーマル 録画

- 通常の録画モード(録画指定された時間帯は常に録画)
- 曜日・時間帯で指定可能



動体検知 録画

- 映像に動きのある間と、その前後を録画(前後の時間は設定可能)
- 映像内で動きを検知させないエリアも指定可能



アラーム 入力録画

- 信号入力のある間と、その前後を録画(前後の時間は設定可能)
- アラーム信号の仕様：ドライ接点・Hi/Lo検出(エッジトリガではない)

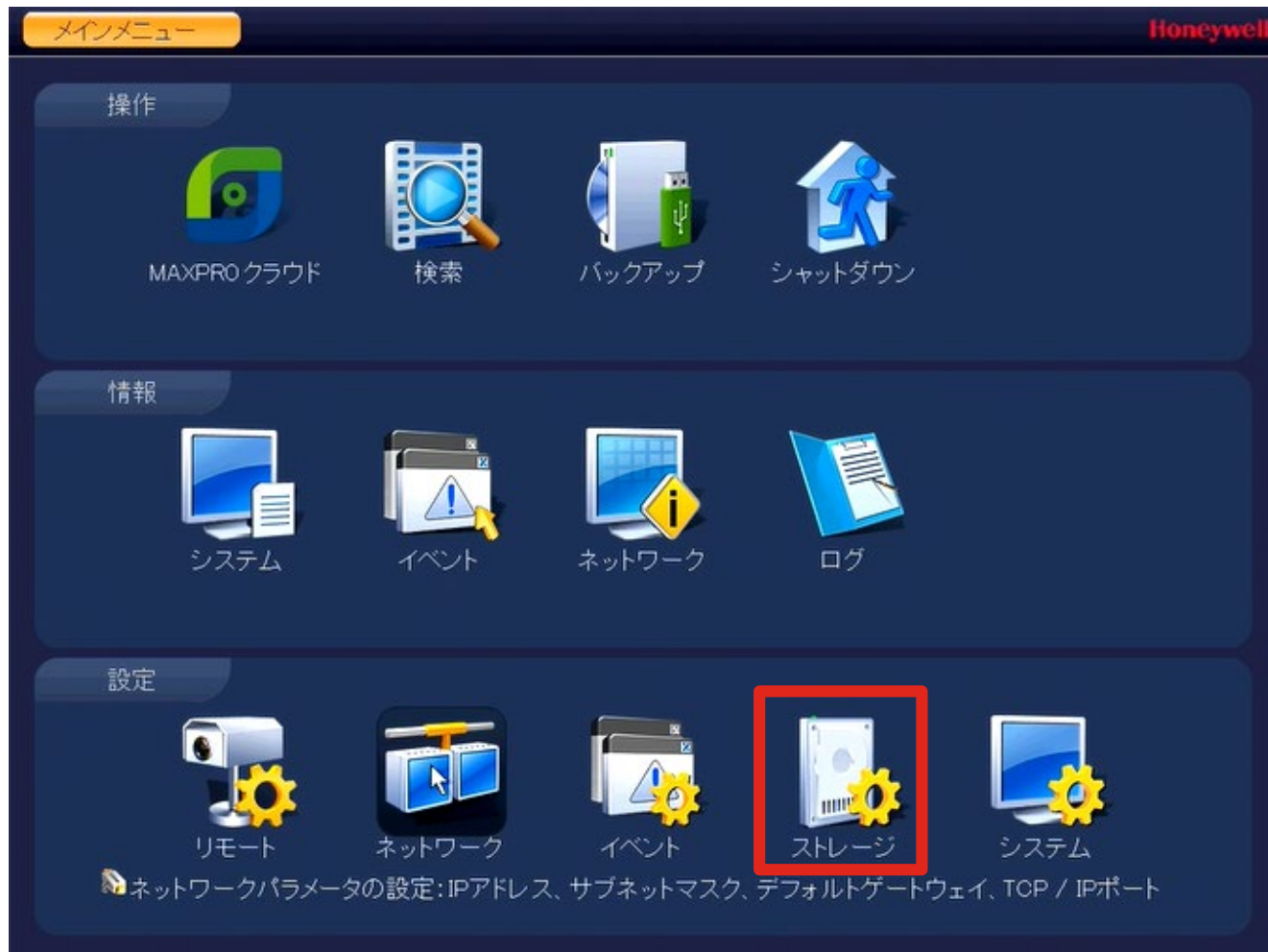
- 各種センサ等との連携
 - ・ 人感センサ
 - ・ ドア開閉センサ
- 外部制御装置との連携
 - ・ PLC等



曜日・時間帯ごとに各モードを使い分けることも可能

録画スケジュールの設定 (1/2)

録画スケジュールの設定を行うためには、メインメニューから「ストレージ」をクリックしてください



録画スケジュールの設定 (2/2)

ノーマル録画・動体検知録画・アラーム入力録画ともに「スケジュール」メニューから一括で設定可能です

設定

カメラ ネットワーク イベント ストレージ 設定

基本

スケジュール

HDDの管理

FTP

録画

高度な

NAS STORAGE

NAS MANAGER

RAID管理

HDD検出

録画 スナップショット

CH 1 プルコード 4 秒 冗長 オフライン 1800 秒

☒ 一般 ☐ 動体 ☐ アラーム ☐ MD&AL ☐ 解析 ☐ POS

☐ 全て ☐ 日曜日 ☐ 月曜日 ☐ 火曜日 ☐ 水曜日 ☐ 木曜日 ☐ 金曜日 ☐ 土曜日

初期設定 コピー OK キャンセル 適用

設定するチャンネルを選択

設定するモードを選択
 レギュラー: 常時録画
 MD: 動体検知録画
 アラーム: アラーム録画
 Analytics: 映像解析
 POS: POSレジスターとの連携時の設定のみ

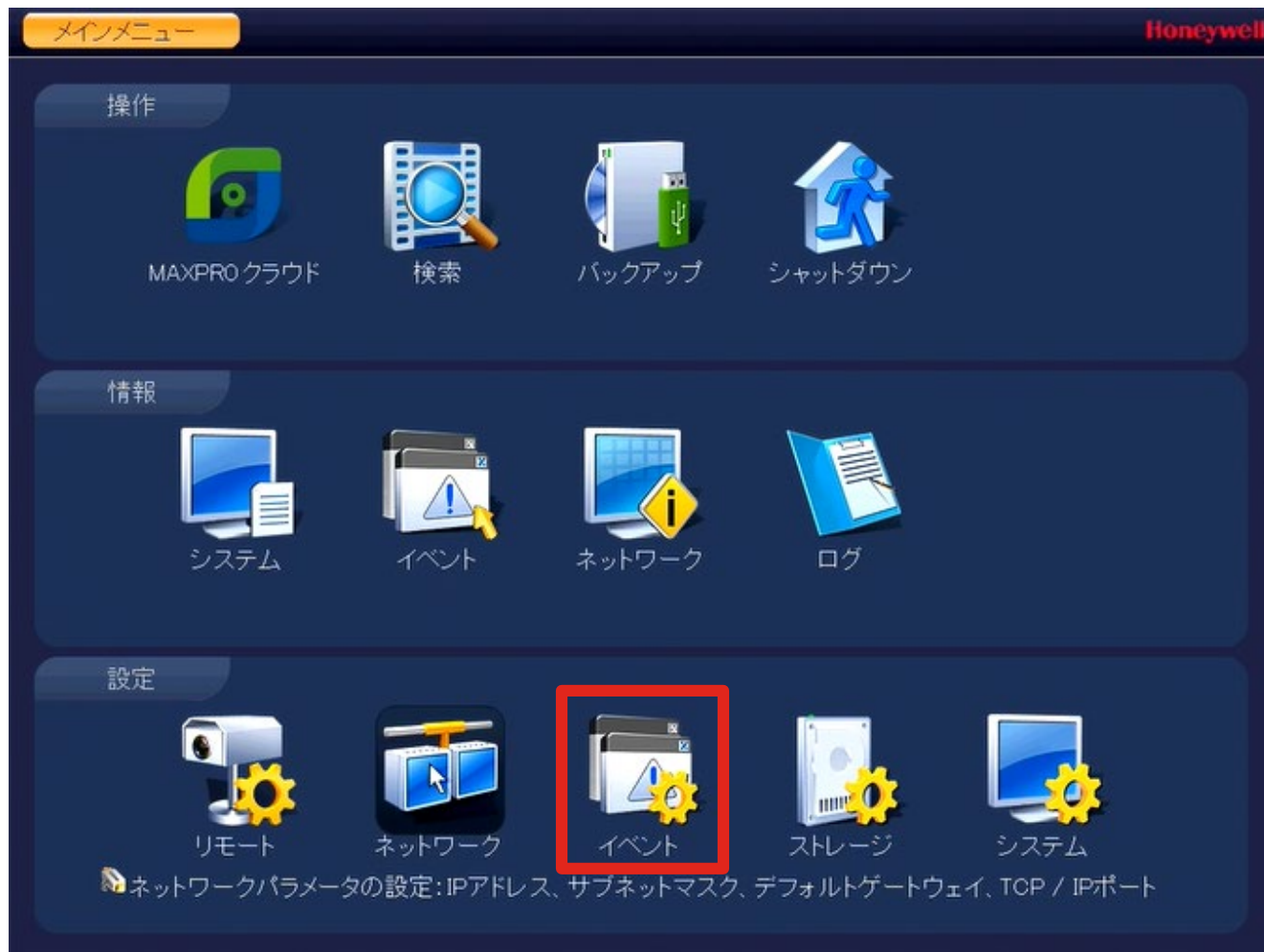
各曜日・時間帯をクリックで選択してON/OFF設定を切り替え

左列をクリックして∞マークに切り替えると、複数の曜日を一括設定可能

Honeywell
THE POWER OF CONNECTED

動体検知録画設定 (1/2)

動体検知録画を行うためには、録画スケジュールのほかに、イベント設定が必要です。メインメニューから「イベント」をクリックしてください



動体検知録画設定 (2/2)

動作検出(動体検知)・ビデオマスキング(カメラ遮蔽)・ビデオロス(映像通信途絶)をトリガとした各種動作の設定ができます

設定

カメラ ネットワーク イベント ストレージ 設定

映像検知

スマートプラン
顔検知
人数カウント
...

動体検知 映像ロス 映像マスク シーン検出

チャンネル 1 有効にする ☐

領域 設定

有効時間 設定

☐ アラーム出力 2 3 4 5 6

☐ メッセージを表示 ☐ アップロード

☒ 録画チャンネル 2

☐ PTZのアクティブ化 設定

☐ ツアー 2

☐ スナップショット 2

☐ ログの有効化

☐ 音声プロンプト ファイル名なし

☐ ブザー

アンチディザ 5 秒

ラッチ 10 秒

ディレイ 10 秒

イベント終了後の録画時間を設定
(例: 動体が居なくなった後の録画時間)

アラーム出力端子からアラームを出力

音声出力端子経由で音声を再生(事前にUSBメモリによるファイル登録が必要)

レコーダー本体のビープ音を鳴らす

検知対象のカメラチャンネルを選択

ここをチェックして有効化
チェックしないとこれ以下の設定は全て無効です

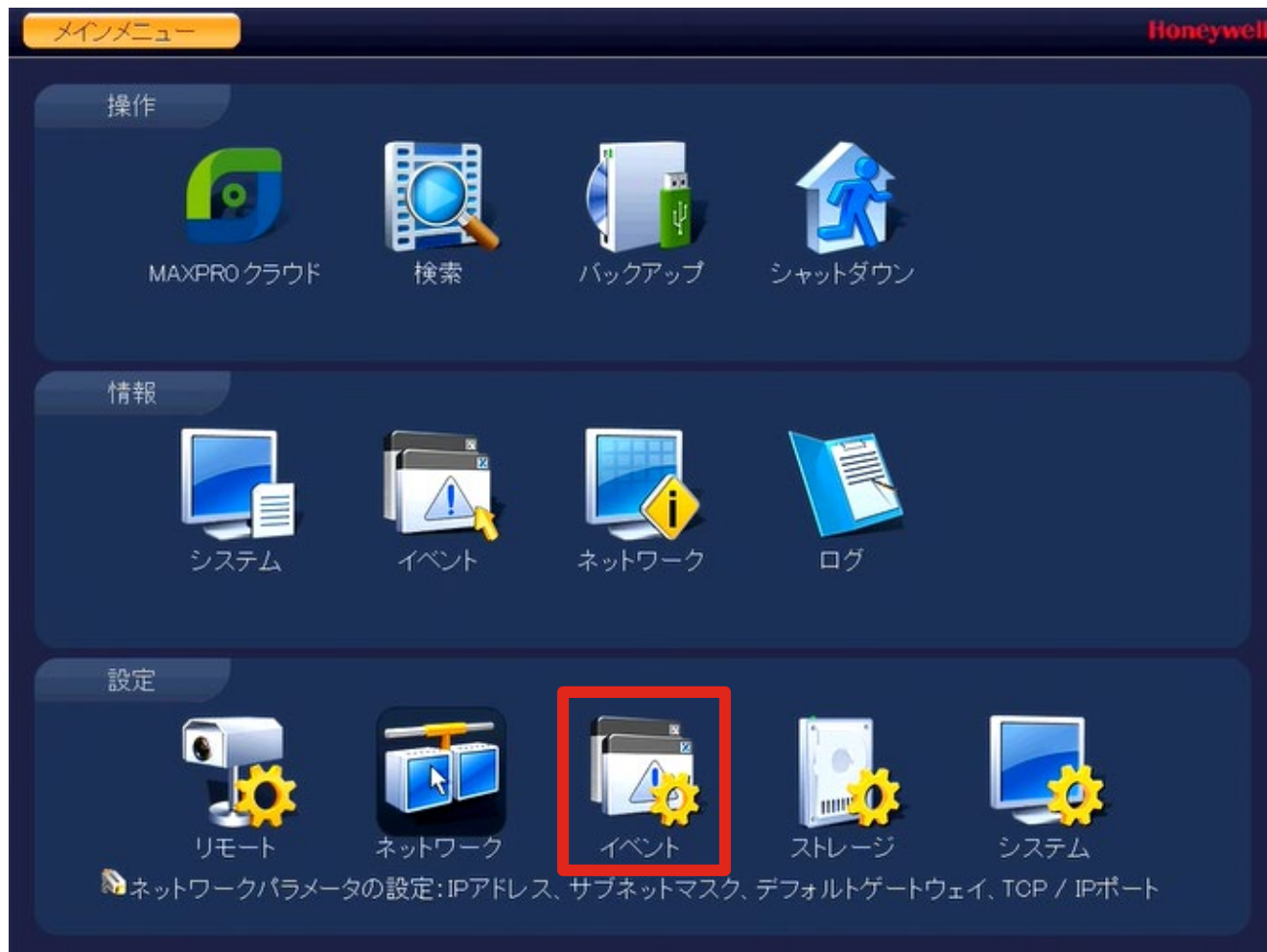
検知対象のカメラ映像領域を選択
(被写体が動いても無視する領域を設定可能)

動体検知で録画を行うチャンネルを選択
(通常は検知対象のカメラチャンネルと同じチャンネルを選択)

ここをチェックしないとスケジュール設定を入れていても録画されません

アラーム録画設定 (1/2)

アラーム録画を行うためには、録画スケジュールのほかに、イベント設定が必要です。メインメニューから「イベント」をクリックしてください



アラーム録画設定 (1/2)

レコーダー背面のアラーム端子への信号入力の場合は「ローカルアラーム」を設定します

ローカルアラームを選択

検知対象のアラーム端子を選択
(アラーム端子のピン配置は別途マニュアル参照)

ここをチェックして有効化
(チェックしないとこれ以下の設定は全て無効)

アラーム端子の仕様を選択
(ノーマル・オープン、ノーマル・クローズから選択可能)

アラーム検知前の録画時間を設定
(例: アラームの入ってくる瞬間より前の録画時間)

アラーム終了後の録画時間を設定
(例: アラーム入力が無くなった後の録画時間)

イベント検知で録画を行うカメラチャンネルを選択
ここをチェックしないとスケジュール設定を入れていても録画されません

アラーム出力端子からアラームを出力

音声出力端子経由で音声を再生(事前にUSBメモリによるファイル登録が必要)

レコーダー本体のブザー音を鳴らす

設定

カメラ ネットワーク イベント

映像検知
スマートプラン
顔検知
人数カウント
レコーダー

ローカル ネット IPC Ext IPカメラオフライン Remote Alarm

アラーム入力 1 有効にする ☒ タイプ NO

アラームエイリアス

有効時間 設定

☐ アラーム出力 2 3 4 5

☐ メッセージを表示 ☐ アップロード

☒ 録画チャンネル 2

☐ PTZのアクティブ化 設定

☐ ツアー 2

☐ スナップショット 2

☒ ログの有効化

☐ 音声プロンプト ファイル名 なし

☐ ブザー

アンチディザ 5 秒

ラッチ 10 秒

ディレイ 10 秒

アラーム出力

異常

音声出力端子経由で音声を再生(事前にUSBメモリによるファイル登録が必要)

レコーダー本体のブザー音を鳴らす

4. Performance カメラ画質設定



画質設定について 概説

画質設定には多くの項目がありますが、カメラ設定(映像の色味に影響)とエンコード設定(映像の品質に影響)の2種類に大別されます

カメラ設定

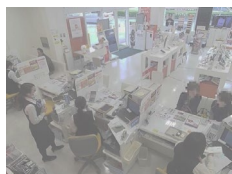
彩度
(鮮やかさ)



輝度
(明るさ)



コントラスト
(明暗のメリハリ)



シャープネス
(明瞭度)



主に映像の「色味」に影響する

エンコード設定

圧縮方式

－ 映像を記録する方式

- ・ H.264, H.265が最もポピュラー
- ・ H.265はH.264の後継規格→H.264比で約2倍の圧縮率

解像度
(単位:Mega Pixel)

－ 映像の精細度

- ・ 高いほど高精細だがデータサイズも比例して大きくなる
- ・ 2MP(地デジ相当)が現在は主流だが8MP(4K高精細)への移行が進展中

フレームレート
(単位:fps)

－ 映像の毎秒コマ数

- ・ 高いほど滑らかだが、データサイズも比例して大きくなる
- ・ パラパラ感解消には20fps以上を推奨

ビットレート
(単位:Mbps)

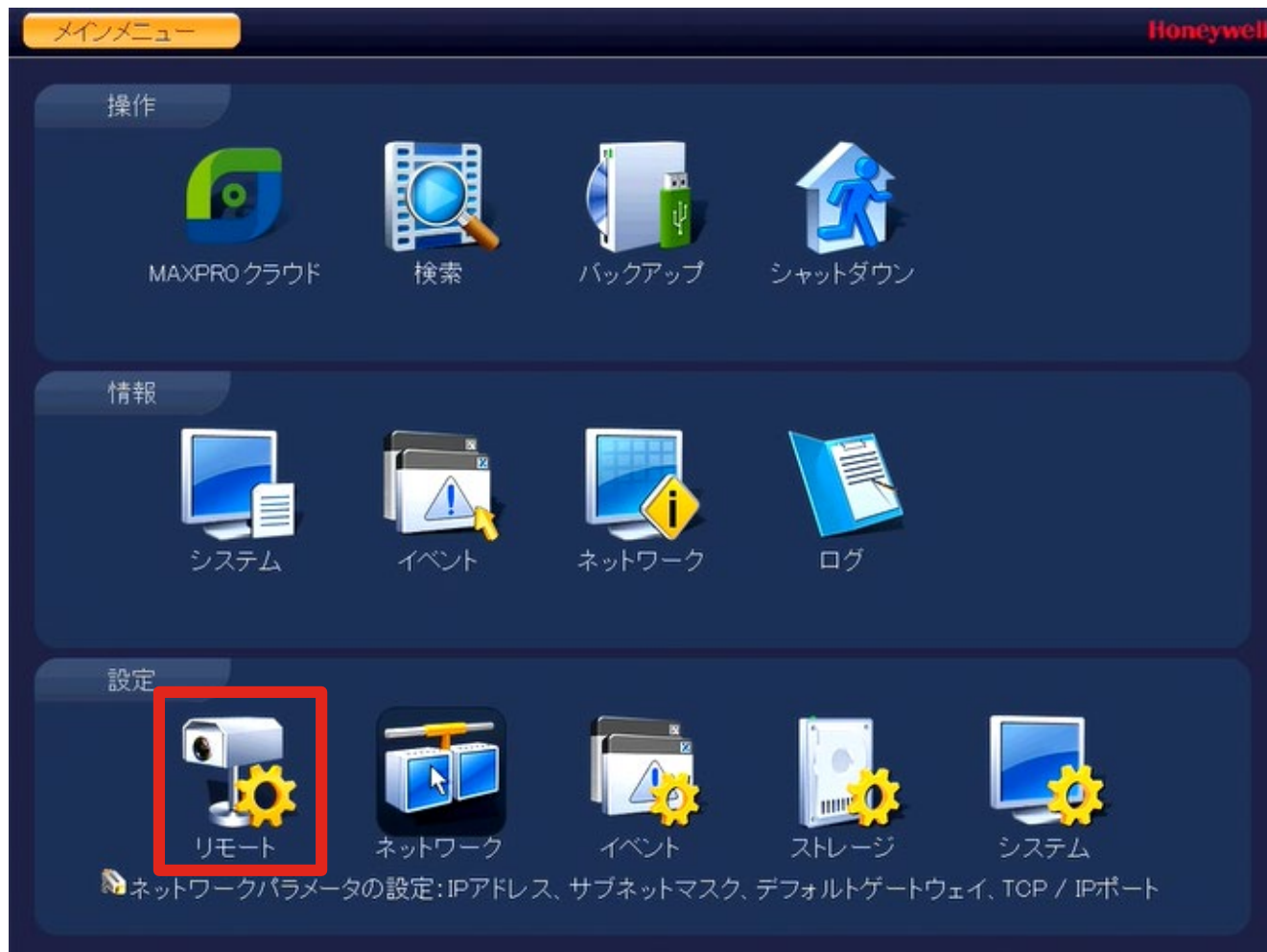
－ 映像のデータサイズを目安

- ・ 一般的には上記の3要素で決まる
- ・ 同じビットレートでも、解像度やフレームレートが高いほど、映像の品質(ノイズ感や明瞭度)は低下

主に映像の「品質」に影響する

画質設定

カメラの画質設定を行うためには、メインメニューから「リモート」をクリックしてください



画質設定 カメラ設定 ※機種により設定画面が異なる場合あり

設定

カメラ ネットワーク イベント ストレージ 設定

デバイス登録
画像
エンコード
カメラ名

CH 1

2019-03-28 15:43:06

明暗差補正設定
 停止: 通常画像
 HLC: ハイライト補正 (白飛び防止)
 BLC: 逆光補正 (黒潰れ防止)
 WDR: ワイドダイナミックレンジ (HLC+BLC)

ダイナイト 設定1

画像

明度 50
 コントラスト 50
 彩度 50
 シャープ 50
 ガンマ 50

ミフー しない | ... 正常

BLC
 モード 停止

3D NR ● オン ○ オフ

モード スケジュール録画

初期設定 リフレッシュ

保存 キャンセル 適用

設定対象のチャンネルを選択

各種パラメーターを設定
 ガンマは映像の階調調整用の特殊な設定項目です。通常は明度・コントラストを変更するだけで十分です。厳しい撮影条件においては明度・コントラスト・ガンマのバランスを見ながら調整することで視認性を向上できる場合があります。

左右反転・回転

IRライト ON/OFF設定

画質設定 エンコード設定

設定 (Honeywell)

リモート | ネットワーク | イベント | ストレージ | システム

リモート
カメラ
ビデオ & オーディオ
チャンネル名

エンコード | スナップショット | オーバーレイ

チャンネル: 1

コードストリームタイプ: レギュラー

追加のストリーム: H264H

圧縮: H264H

解像度: 1920x1080(10i)

704x480(D1)

フレームレート(FPS): 25

ビットレートタイプ: CBR

ビットレート(Kb/S): 4096

1024

基準ビットレート: 1024-10240Kb/S

192-3584Kb/S

オーディオ/ビデオ: ☐ ☒

イントラフレームの間隔: 25 (25-150)

コピー OK キャンセル 適用

設定対象のチャンネルを選択

各種パラメーターを設定

ビットレートタイプは CBR/VBRから選択可

- CBR(ビットレートを常時一定に保つ)
- VBR(ビットレートを映像に合わせて可変させ、データサイズを節約)

5. Performance その他 機能説明



この章では各メニューの主要機能を説明します



録画した映像は、USBメモリへの書き出しが可能です
この画面のほかに、録画再生画面からも操作可能です(P14参照)

[illegible]

設定対象の チャンネルを選択

書き出しリストに追加
(同じ操作を繰り返す
ことで、複数の区間や
チャンネルを指定する
ことが可能)

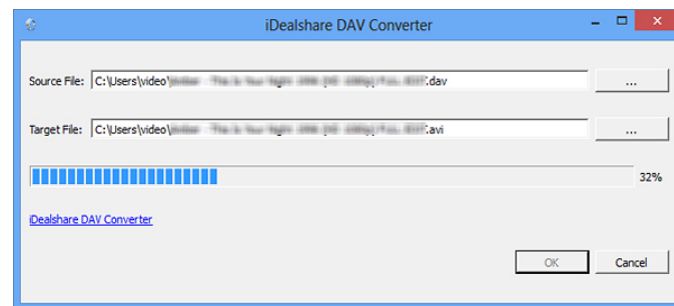
こちらを押して
書き出しをスタート

バックアップ (2/2)

書き出された映像(DAV形式)は、専用ビューワーで視聴できます。
AVI形式やMP4形式への変換は別途フリーソフトなどで可能です*



書き出し先のUSBメモリに
専用ビューワーが自動的に
書き込まれます



DAV形式→AVI形式の変換は
別途フリーソフトなどで可能*
(例:DAV Converter)

シャットダウン

レコーダーの電源を切る際は、必ずシャットダウンメニューから操作してください。画面に”Honeywell”のロゴが出たことを確認した上で、背面の電源スイッチを切ってください (機種によって自動的にブラックアウトや電源遮断を行う場合あり)

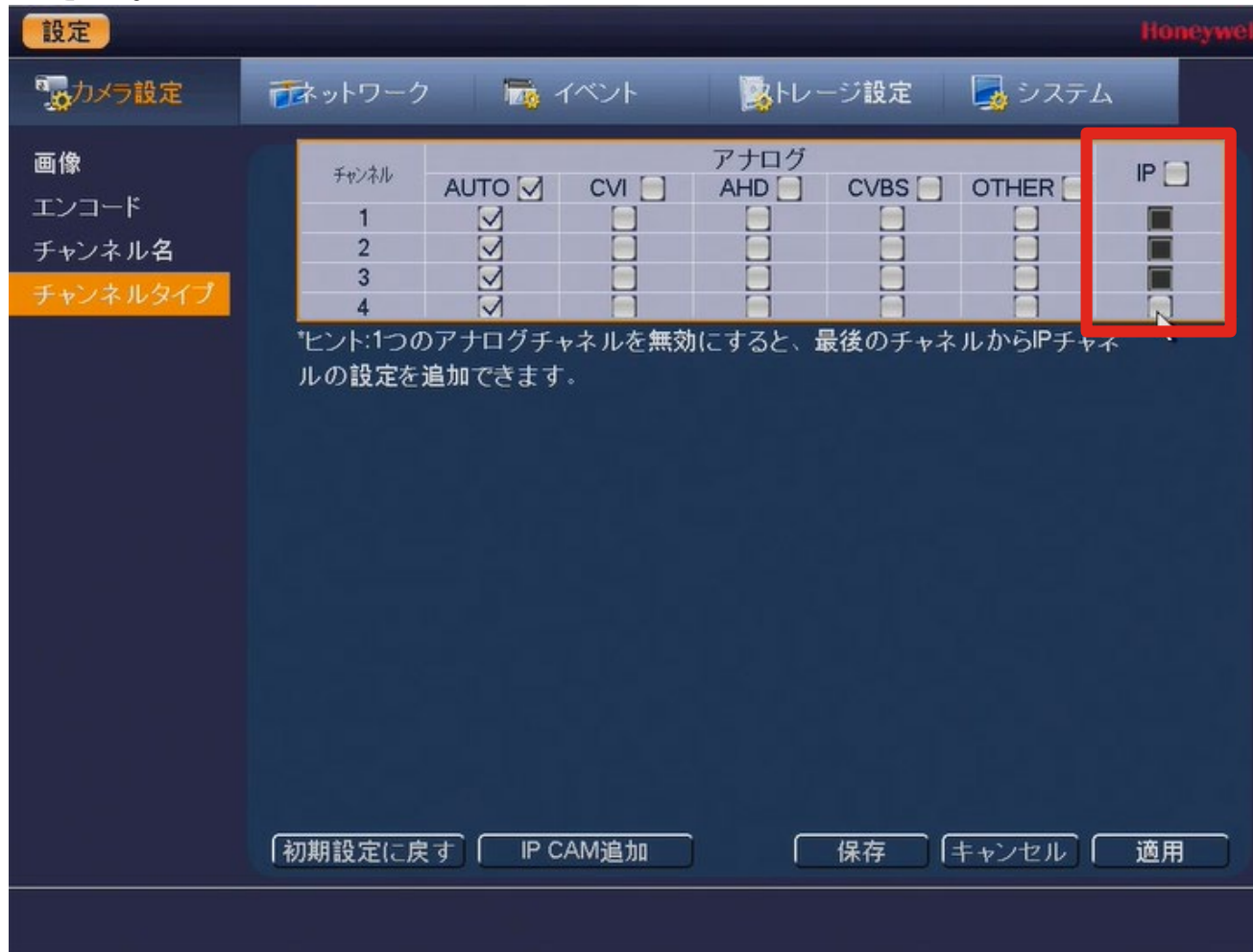


ロゴ表示後は電源遮断してOK

(機種によって自動的にブラックアウトや電源遮断を行うものもあり)

チャンネルタイプ設定

DVRレコーダーは通常はアナログカメラ接続を前提としていますが、背面のEthernetポートからネットワークハブを通じてIPカメラを接続することも可能です。以下画面でチャンネル種別を「IP」に変更し、リモート(次ページ参照)でIPカメラの登録を行ってください。



リモート (1/2) ※IPカメラ接続時のみ

レコーダー上で表示・録画するカメラの登録と削除ができます
接続状態の確認やIPアドレスの変更もこのメニューから可能です

The screenshot shows the Honeywell NVR remote management interface. The top navigation bar includes '設定' (Settings), 'リモート' (Remote), 'ネットワーク' (Network), 'イベント' (Event), 'ストレージ' (Storage), and 'システム' (System). The left sidebar shows 'リモート' (Remote) with sub-items 'カメラ' (Camera), 'ビデオ & オーディオ' (Video & Audio), and 'チャンネル名' (Channel Name). The main area has tabs for 'リモート', '状況' (Status), and 'ファームウェア' (Firmware). Under the 'リモート' tab, there is a table for camera registration. A red box highlights the '追加' (Add) button in the table. Another red box highlights the '修正' (Edit) button in the table. A third red box highlights the '削除' (Delete) button in the table. A fourth red box highlights the '追加' (Add) button in the 'デバイスの追加' (Add Device) section. A fifth red box highlights the '保存' (Save) button at the bottom. A sixth red box highlights the 'キャンセル' (Cancel) button at the bottom. A seventh red box highlights the '適用' (Apply) button at the bottom. A red callout box points to the '追加' (Add) button in the table, stating: 'ネットワーク上に存在する未登録のカメラが一覧表示される。登録したいカメラにチェックを入れて、「追加」を押下すると登録される。' (Unregistered cameras existing on the network are listed. Check the camera you want to register and press 'Add' to register it.) A red callout box points to the '修正' (Edit) button in the table, stating: 'Uplink接続の場合、カメラのIPアドレスとNVRのIPアドレスは一致している必要あり。不一致の場合はこちらからダイアログを開いてIPアドレスの修正が可能 ※次ページ参照' (In the case of Uplink connection, the camera's IP address and the NVR's IP address must be the same. If they are not, you can open a dialog from here to correct the IP address. ※Refer to the next page.) A red callout box points to the '追加' (Add) button in the 'デバイスの追加' (Add Device) section, stating: '登録済みのカメラ一覧' (List of registered cameras). A red callout box points to the '保存' (Save) button, stating: '状況が●であれば正常' (If the status is ●, it is normal). A red callout box points to the 'キャンセル' (Cancel) button, stating: '接続に不具合があり映像を表示できない場合は●が表示される' (If there is a problem with the connection and the video cannot be displayed, ● will be displayed).

チャンネル	修正	削除	状況	IPアドレス	ポート	デバイス
2				192.168.3.67	80	
1				192.168.3.67	37777	Z363600087
2				192.168.3.67	37777	Z363600087

デバイスの検索 追加 ディスプレイフィルタ なし

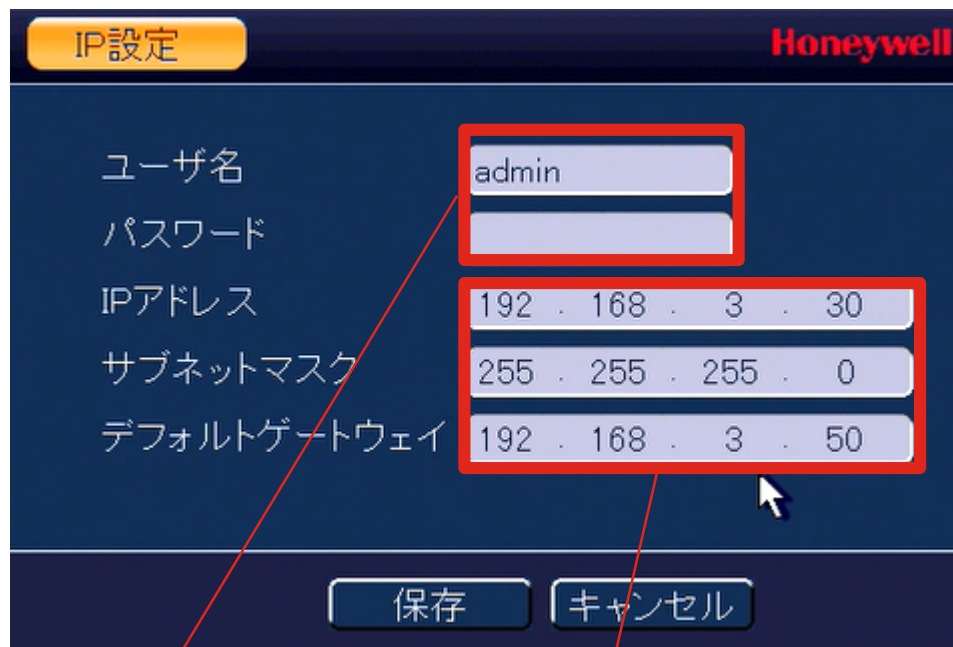
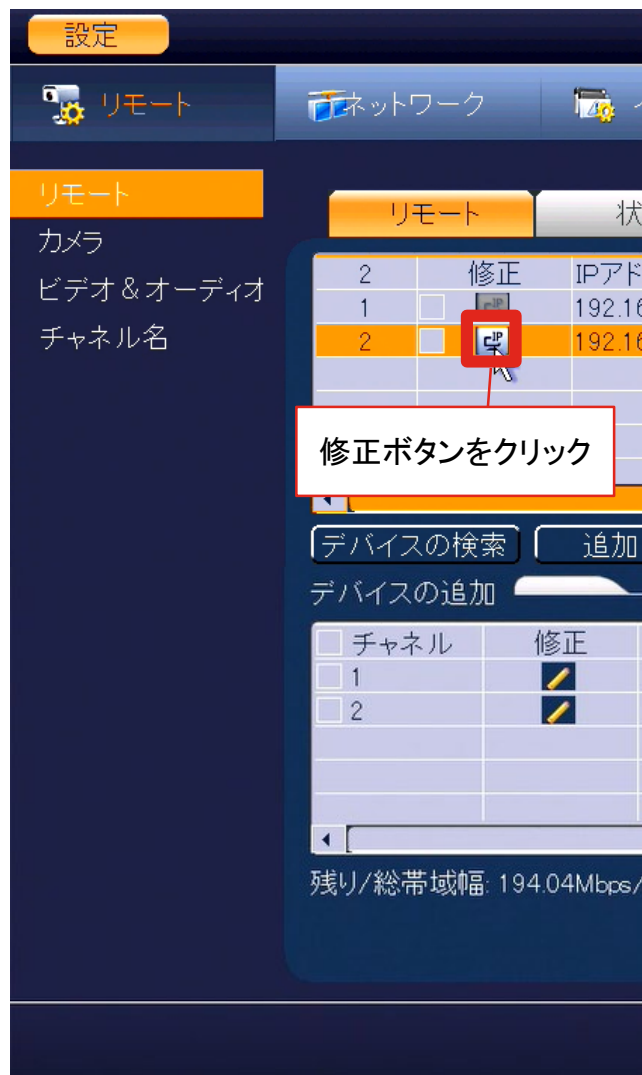
デバイスの追加

チャンネル	修正	削除	状況	IPアドレス	ポート	デバイス
1				10.1.1.65	ポート 1	Z1886002
2				10.1.1.66	ポート 2	Honeywe

残り/総帯域幅: 194.04Mbps/200Mbps 削除 手動追加 保存 キャンセル 適用

リモート (2/2) ※IPカメラ接続時のみ

IPアドレスの変更を行う場合(セグメント合わせなど)は、「修正」ボタンからIPアドレス変更のダイアログを開くことができます



IPカメラ側のユーザー名・
パスワードを入力
デフォルトはadmin・1234

※レコーダー本体のユーザー名・
パスワードではないことに留意

変更したい
IPアドレスを入力

ネットワーク (1/2)

レコーダーをEthernetポート経由でネットワークに接続した際にレコーダーに割り振られるIPアドレスの設定などが可能です

The screenshot displays the Honeywell network configuration interface. The '設定' (Settings) menu is open, and the 'ネットワーク' (Network) tab is selected. Under the 'TCP/IP' section, the '接続' (Connection) option is chosen. The interface shows various network parameters that can be configured. Two red boxes highlight specific settings: the IP address field and the DHCP checkbox. Callout boxes provide instructions for manual IP assignment and DHCP usage.

設定項目	値
MTU	1500
LANダウンロード	<input type="checkbox"/>
IPバージョン	IPv4
Macアドレス	00:1f:55:35:16:19
IPアドレス	192 . 168 . 1 . 108
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
デフォルトゲートウェイ	192 . 168 . 1 . 1
推奨DNS	8 . 8 . 8 . 8
代替DNS	8 . 8 . 4 . 4

マニュアル設定で任意のIPアドレスを指定可能

☐ DHCP

DHCPサーバー利用の場合はこちらにチェック

デフォルト 保存 キャンセル 適用

ネットワーク (2/2)

P2P接続モードをONにすることで、HonView TouchやHDCSなどのアプリケーションからレコーダーに簡単に接続できるようになります

The screenshot shows the Honeywell network settings interface. The left sidebar lists various settings: リモート, ネットワーク, イベント, ストレージ, システム, TCP/IP, 接続, Wi-Fi, 3G設定, PPPoE, DDNS, UPnP, IPフィルタ, Eメール, FTP設定, SNMP, マルチキャスト, **P2P**, アラームセンター, 自動登録, and スイッチ. The main area displays the P2P settings. A red box highlights the '有効にする' (Enable) checkbox, which is checked. A red box also highlights the 'オフライン' (Offline) status. A QR code is displayed below the status. At the bottom, there are buttons for 'OK', 'キャンセル' (Cancel), and '適用' (Apply). Three callout boxes provide instructions: one points to the '有効にする' checkbox with the text 'こちらにチェックを入れてP2Pモードを有効化' (Check here to enable P2P mode); another points to the 'オフライン' status with the text '適用ボタンを押下後、しばらくしてオンライン表示になることを確認' (After pressing the Apply button, confirm that the status changes to online after a short time); and a large box at the bottom right contains the text 'P2P接続の利用方法はアプリケーションのマニュアルを別途ご参照ください (HonView Touch・HDCS)' (For the P2P connection usage method, please refer to the application manual separately (HonView Touch・HDCS)).

設定

Honeywell

リモート ネットワーク イベント ストレージ システム

TCP/IP
接続
Wi-Fi
3G設定
PPPoE
DDNS
UPnP
IPフィルタ
Eメール
FTP設定
SNMP
マルチキャスト
P2P
アラームセンター
自動登録
スイッチ

有効にする
状況 オフライン

こちらにチェックを入れてP2Pモードを有効化

適用ボタンを押下後、しばらくしてオンライン表示になることを確認

**P2P接続の利用方法は
アプリケーションのマニュアルを
別途ご参照ください
(HonView Touch・HDCS)**

OK キャンセル 適用

ストレージ (1/2)

録画を行う時間帯とモードを設定できます

設定

リモート ネットワーク イベント ストレージ システム

スケジュール

HDDの管理
記録
チャンネル

記録 スナップショット

チャンネル 1 前レコード 4 秒 冗長性

☒ レギュラー
 ☐ MD
 ☐ アラーム
 ☐ MD & アラーム

全て 0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24
 日曜日
 月曜日
 火曜日
 水曜日
 木曜日
 金曜日
 土曜日

デフォルト コピー OK キャンセル 適用

設定するモードを選択
レギュラー: 常時録画
MD: 動体検知録画
アラーム: アラーム録画

各曜日・時間帯をクリック
で選択してON/OFF設定
を切り替え

左列をクリックして
∞マークに切り替
えると、複数の曜
日を一括設定可能

HDDのデータ全消去を行う場合はフォーマット操作を行ってください



システム (1/2)

“一般”メニューから、日付時刻やログアウト時間などが設定できます

設定

リモート ネットワーク イベント ストレージ システム

一般

表示
RS232
パン/チルト/ズーム
アカウント
自動更新
構成のバックアップ
デフォルト
アップグレード

一般 日付&時刻 休日用設定

デバイス名 NVR
デバイスNo. 8
言語 日本語
ビデオスタンダード NTSC
HDDフル 上書き
バック期間 60 分
リアルタイム再生 5 分
自動ログアウト 10 分
IPC時刻同期 5 分
☐ ナビゲーションバー ☒ 起動ウィザード
マウスの感受性 スロー 高速

日付・時刻の修正はこちら

HDDが満杯になった際に、古いデータを上書きして録画継続するか、録画を停止するかを選択

無操作状態でロック(パスワード要求)が掛かるまでの時間を設定

デフォルト 保存 キャンセル 適用

システム (2/2)

“表示”メニューから、ディスプレイ表示解像度を変更できます

